

# ゆうゆう通信

令和2年2月10日発行 第33号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設  
ゆうゆう 広報委員会

〒395-8503 飯田市上郷黒田341  
電話 53-6048 FAX 53-6047



## 令和最初の年頭のご挨拶

ゆうゆう施設長・高松診療所長  
金子源吾

新年明けましておめでとうございます。2020年令和初の新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。まず、はじめに、今年も当施設が希望に満ちた新年を迎えることができましたことは、関係する皆様方のご理解とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと昨年(2019年)は4月までは平成、5月からは令和と、元号が変わった記念すべき年でした。世相を表す漢字一文字は令和の『令』でしたが、ほかに消費税が10%になり軽減税率が導入された消費税改正法令の『令』、日本の各所で台風や集中豪雨による避難命令の『令』でもありました。明るい話題では吉野彰博士がリチウムイオン電池の研究でノーベル化学賞を受賞したことやラグビーワールドカップでの日本代表チームの活躍などがありました。

昨年、当施設(ゆうゆう及び高松診療所)での新しい出来事としては、タイムレコーダーを導入して働き方改革の一步を踏み出した事と、診療所の電子カルテが市立病院のカルテと連動して業務の能率が著しく向上した事などがあります。また、対外的には地域貢献活動として、認知症の介護から予防に向けた3つの事業、すなわち「ゆうゆうカフェ」、「認知症サポーター養成講座」に加えて、介護予防のための「通所型サービスCのモデル事業」を開催・継続することができました。内部にあつては、多くの方のご

協力により、在宅強化型の施設基準を安定して維持することができました。

そこで、2020年「ゆうゆう」の目標として、地域貢献活動の3つの事業を更に発展させる事と、在宅復帰をより強力に支援することとで超強化型老健の実現を目指したいと考えております。

しかしながら、昨年の職員メンタルヘルスに関連したストレスチェックの結果、「ゆうゆう」はハイリスクの職場であることが判明いたしました。今年には職員同士でお互いに知恵を出し合い、ストレスの少ない働き易い職場になるよう取り組みを進めたいと考えております。

この他に、「ゆうゆう」における毎年共通の課題があります。①安全対策・特にインフルエンザ、ノロウイルスなど感染症対策、インシデント・アクシデントレポートの徹底 ②地域への貢献活動・夏祭りや前述した認知症カフェ、認知症サポーター養成講座やモデル事業などの開催 ③ハラスメント防止や飲酒運転撲滅などのコンプライアンス(法令)の順守 ④災害対策・防災訓練の実施 ⑤健全経営の堅持、などです。それぞれ、確実に実行していきたいと考えております。

近年、国全体の医療制度改革の方向性は、団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を念頭に、地域包括ケアシステムの構築が進められてきましたが、今後は更に2040年問題への対応が求められる時代になると予想されます。その中にあつて介護老人保健施設「ゆうゆう」は、今年も信頼される介護サービスの提供に努め、その役割を果たしてまいりたいと決意を新たにいたしております。

本年2020年が皆様方にとりまして、明るく希望に満ちた良い年でありますようご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## 2階 クリスマス会

令和初めてのクリスマス会を12月20日に開催しました。今回はAチームとBチームそれぞれで職員のハンドベルの演奏を行いました。ハンドベルの練習は時間がなく、実はほとんどの職員は当日が初めての演奏でした。即興ではありましたが楽しく聴いて頂けました。また、演奏する職員も楽しくできました。理学療法士のハンドベルは手にベルを持つのではなく体の「とある場所」に付けて演奏をし、皆さん大笑いしていました。サンタクロースに仮装した職員が写真立てにもなるクリスマスカードを1人1人の利用者様に手渡しました。カードの中には利用者様が一番の笑顔を撮影した写真が入っています。利用者様はその写真をお互い見せ合ったりして会話が弾んでいました。今でもお部屋へ飾ってくれている人もいて大事にしています。みなさんクリスマスカードのプレゼントをととても喜んでくださいました。お茶の時間にはケーキとシャンパンを美味しく味わって頂きました。久しぶりのシャンパンをおかわりする方もいました。感染の時期ではありませんでしたが、無事クリスマス会を開催でき、利用者様の皆様にクリスマスの雰囲気を感じてもらおうことで、楽しい時間を過ごすことができました。



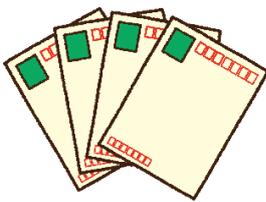
## 3階 お楽しみ会

12月11日の午後、さくら・すみれユニットでは『絵手紙と歌の会』と題してお楽しみ会をおこないました。計画当初はユニット対抗の歌合戦を予定していましたが、インフルエンザが流行し始めたため、それぞれのユニットごとの開催となりました。

絵手紙は、年賀状や近況の報告などをご家族様あてに作成しました。新しい年の干支（ねずみ）のスタンプを押したり、イラストを切って貼ったりと、みなさんそれぞれに楽しみながら個性あふれる作品ができあがりしました。筆ペンを使って、慣れた手つきで新年のあいさつを書く利用者様や、「字なんてもう何年も書いていない」という利用者様が「げんきです」と、気持ちのこもった一言を書いていらしたり、皆さんの隠れた才能が発揮されました。

歌の会では、今回ゆうゆうで新しく購入したカラオケを初めて使ってみました。こちらはマイクタイプのもので、幅広いジャンルの曲が900曲も入っており、音程や速さも自由に変えられるという優れたものです。『青い山脈』『赤とんぼ』『ふるさと』など、事前に皆さんで選曲していただいていた練習してきた歌をはじめ、懐かしい歌をいくつも歌って楽しめました。

お正月には、利用者様からの絵手紙が届いたご家庭もあると思います。入所中も頑張っていらいっしやるご様子をご家族様へ伝われば幸いです。



## デイ 正月行事

デイでは1月の行事としてクジ引きや連風作り、書初め等を行いました。

クジ引きでは大吉、中吉などの他に「健康に過せる」や「痛みが良くなる」などのメッセージが書かれていました。なかには「告白されるかも」や「ヤッターおめでとー、すつきり解消」などユニークな物もありました。

連風作りでは一人ずつ障子紙に願いを書き、干支であるネズミを書いた紙を貼りハンコや飾り付けをして凧を作りました。「家内安全」や「健康」などが多かったです。

書初めでは「正月、春、松」などの好みの字を選んで書くことができました。筆を使うのは久しぶりの方も多かったですが慣れた手つきで書くことができました。なかには昨年、流行語大賞になった「ワンチーム」と書かれた方もいました。いよいよ新しい年の始まりです。皆さんが今後とも笑顔で体調良く過せるよう職員一同お待ちしております。



## 2階 正月行事

今年も2階の中庭で1年かけたワラを使い、12月25日に10人程参加しておやすづくりを行いました。作り慣れた方もいらつしやり、職員は教えてもらいながらたくさん作る事が出来ました。ステーションをはじめ、エレベーターホールなどに飾ることが出来ました。31日には、ダルマに1年無事に過ごせたお札を兼ねて、筆で目を入れました。

また、元旦には1年の無病息災を願って、ダルマの目入れを行いました。利用者様は「めでたい」「健康で過ごせますように」と願いながら目を入れていました。運試しのおみくじ、カルタ、花札、トランプ、書初め等、正月におこなっていた事を各チームで考えてお茶の時間などに行いました。カルタ取りでは、「できん」と言いながらも、職員が読み始めると夢中になって探しては「あった、これなら」と嬉しそうに拾っている姿が見られました。書初めでは、新しい年号になった「令和」という漢字が人気で、久しぶりに持つ筆に緊張しながらも、楽しんで筆を走らせていました。



## 3階 新年会

3Aチームでは新年明けてから、ゆうゆう神社へのお詣りをしておみくじを引いてもらいました。お詣りでは皆両手を合わせ無事に新年を迎えたことを喜んでいました。大吉、吉のおみくじを引いて笑顔が見られました。新年に向けてみんなで協力して富士山の貼り絵も行い立派な富士山が完成しました。

日中の行事で習字、かるた、お正月塗り絵をして歌を歌ったりして新年の行事を楽しむことができました。本年も健康でみんなが笑顔で過ごせることを願っています。



## 認知症カフェに寄って行きませんか？

ゆうゆうでは、認知症である方やその家族が、同じ不安や悩みを持つ人や専門職等と気軽に情報を共有し相談していただくことのできる場を提供し、認知症の人や家族が社会的に孤立しないよう、また、日常における精神的負担感を軽減していただくことを目的に、平成29年10月より認知症カフェ（通称「ゆうゆうカフェ」）を行っています。

認知症ケアの専門家が常駐し、日頃お困りの事や、支援の方法など、アドバイスさせていただいています。毎回季節に合わせた手作りおやつも好評です。参加者からは、「気持ちが悪くなった」「また来たい」などの声が聞かれます！ぜひお気軽にお越しください。

**\*実施日時** 毎月第4日曜日午後1時～午後3時

**\*実施場所** ゆうゆう1階デイケアルーム

**\*対象者** 認知症の方、及びその家族、その他どなたでも

**\*利用料金** 一人100円（飲み物、おやつ代として）



## 浴槽を改装します！

当施設は、2010年に新築移転し、10年が経過しようとしています。今回、檜浴槽の老朽化と利用者様を安全に介護させて頂く事、また職員の介護負担軽減を目指して、浴槽の改修、天井走行リフト、浴槽の出入り動作を補助する機器を一部に導入する運びになりました。

2020年4月の運用開始を目指して準備を進めて参ります（今まで通りご入浴頂ける環境も用意しております）。



## CSセット（ケアサポートセット）を始めました

ゆうゆうでは、ご利用者様・ご家族様へのサービスとして、CSセットを導入しました。日用品やケア用品、タオル衣類など、今まではご持参していただいていた持ち物をプランにに応じてゆうゆうから提供させていただくものです。CSセットをご利用いただいたご家族様からは「入所時の持ち物の準備が楽になった」「家族が遠方にいるので、すぐ対応してもらえることはありがたい」など、うれしい言葉をいただいています。これからも、よりよいサービスとケアの提供を目指し努力してまいります。

## 感染症対策対応期間中の面会時のお願い

抵抗力が低下している高齢者（利用者様）にあって、面会者の来所は会えて嬉しいと同時に、外部からウイルスを持ち込む存在となります。利用者様の感染予防のため、体調が悪い時の面会はお控えください。特に、発熱、咳嗽、下痢、嘔吐などはつきりした症状がある時、また、多人数の面会も感染源を持ち込む可能性が高くなります。抵抗力の弱い小学生以下のお子さんの面会は、この期間中は制限させていただきます。手指のアルコール消毒など、接触感染予防も必要です。

これらの面会方法により、施設内にウイルスを持ち込まないようにご協力をお願いします。

## 編集後記



ご利用者の方とご家族の皆様方には、令和になって初めての新年を、心新たに迎えられることとお慶び申し上げます。

本年令和2年も、皆様方に、よりご満足いただける介護とリハビリを目指しまして、職員一同、更なる研鑽に努めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。（良）

